

学校給食への異物混入について

12月4日、海老名市立上星小学校の給食で提供された「コッペパン」に異物が混入した。児童が半分ほど「コッペパン」を食べた際に金属片のようなものを発見し、担任に報告した。食べる前に発見したため、現時点では健康被害の報告はない。なお、同様に「コッペパン」を供給した他の5小学校について、確認をおこなったが報告はなかった。

1 発生日時

12月4日（水）12時50分ごろ

2 発生場所

海老名市立上星小学校（海老名市上今泉一丁目23番1号）
校長 久津間 千晶 児童数681人

3 事故の内容・経過など

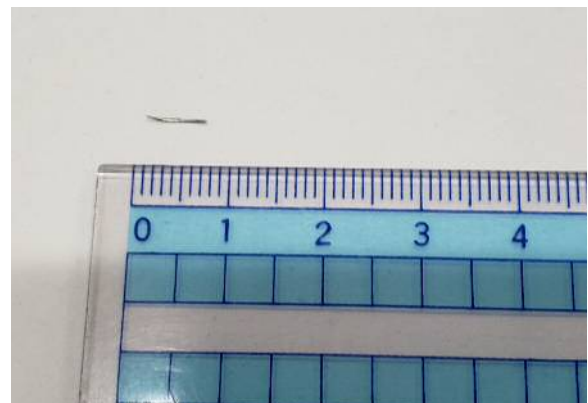
同校2年生（児童数109人）の児童が、「コッペパン」を食べた際に、金属片のようなものを発見した。

4 異物の概要

金属片と思われる銀色の破片
（長さ約1cm、太さ約1mm未満）

5 当日の献立

コッペパン、きゃべつソテー、
ウインナーケチャップソースがけ、
スライスチーズ、コーンチャウダー、
牛乳



▲金属片と思われる銀色の破片

6 原因および対応

原因：納入業者を含め現在調査中。
対応：「パン」以外で代替する。

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市教育部就学支援課 電話046・235・4921